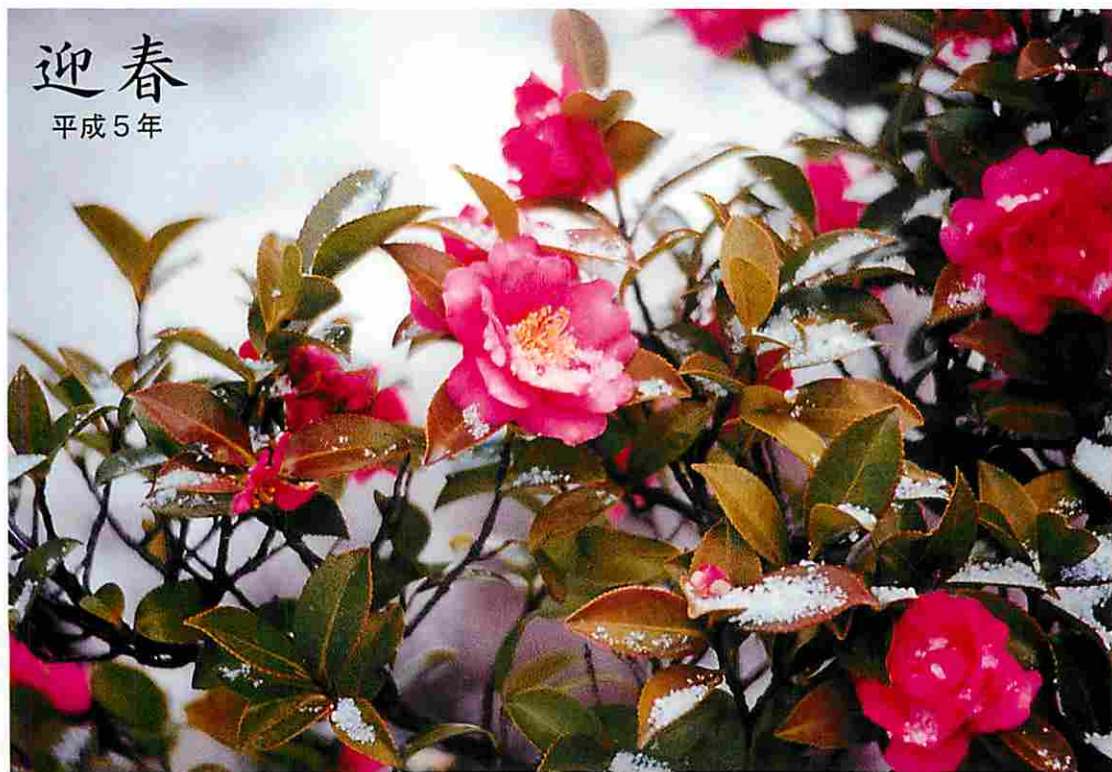


中 岳

迎春

平成5年



熊本市歯科医師会会誌

第 80 号

中根会長 年頭所感

新年パーティー

熊本市デイサービスセンター長寿の里開所

目 次

年 頭 所 感	中 根 俊 吾	1
新年パーティー	内 田 隆	2
改正医療廃棄物処理法の説明会	沢 木 孝 明	4
在宅歯科保健推進事業研修講演会	尾 上 宏	6
救急蘇生法研修会	永 田 省 蔵	7
第11回九州八市歯科医師会役員連絡協議会	関 剛 一	8
熊本市民健康講座	関 剛 一	9
学 術 講 演 会		
「感染根管と非感染根管の治療術式の違いについて」	永 田 省 蔵	10
第11回ビデオ研修会	永 田 省 蔵	12
長寿の里開所	寺 脇 博	13
委 員 会 だ よ り		
口腔衛生委員会		14
学校歯科委員会		18
医療管理委員会		20
広 報 委 員 会		22
移 動 理 事 会		23
勉 強 部 屋		
「きれいなX線写真を得るポイント」	木 村 浩 幸	24
支 部 だ よ り		26
グループ旅行		26
本 日 休 診		
「私の見た中国の歯科事情」	元 島 博 信	28
一 枚 の 写 真		30
スポーツの広場		32
新入会員紹介		33
会 務 報 告		36
編 集 後 記		

年頭所感



地域に根ざした 歯科保健推進システムの確立を

熊本市歯科医師会会長

中 根 俊 吾

新年おめでとうございます。年頭にあたり会員各位、ならびにご家族の皆様には健やかに新春を迎えられたこと、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は会務全般に亘り、そして又、対外事業につきましても多くのご教示とご協力を戴きました。

殊に七月の参議院選挙における大島慶久議員の名簿登載4位での当選という快挙は、会員ご家族をはじめとする皆様のご尽力によるものでした。ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

ご存知の通り、最近の世界情勢は目まぐるしく、政府の対応も国際協調、経済支援、貿易摩擦解消など難題は山積し、一方、国内の社会情勢は、バブル経済の崩壊による景気の低迷が長期化の様相を呈し、又、政界の混迷、人口構成の高齢化、更に環境問題など社会全体が大きな転換期を迎えています。このことは、私共の歯科界にも今後さまざまな形で波及してくるものと考えられます。特に医療法や診療報酬の改定にどのように影響するのか、予断を許さないところです。

しかしながら、明年の診療報酬改定については、私共の経営の安定化やマンパワーの確保、ひいては国民の健康保全のために、技術料をはじめとする医療行為の適正評価など、適切充分な改善が盛り込まれることを強く望んで止みません。そのための準備期間として今年は大きな意味をもっていると感じます。ところで、熊本市は未来に向けて大きく飛躍すべく、昨年、新熊本構想を具体化する基本計画を正式決定しました。保健、福祉についても、国の方針にならないながらも、熊本市レベルでの多くの積極的な施策が打出されています。その具現として、在宅歯科保健推進事業や、デイサービスセンター長寿の里における本邦で最初という歯科診療所の併設が挙げられます。誠にもって高く評価されるべきことであると存じます。これに伴い、私共歯科医師会も将来に向って地域に根ざした歯科保健の展望や、具体的な推進システムの確立が急務であるといえます。その基本となるものは、生涯を通しての歯科健診、教育、指導であると申しても過言ではないでしょう。私共は、私共の職責として大きな視野に立って地域の人々の健康保持と、クオリティ・オブ・ライフを高めることに努力しなければなりません。

今後も、今迄以上に関係機関と充分な検討を加えながら、各々の責任分担を明確にし、地域社会の要請に添えていく所存です。そのためには、会員皆様の一層の団結と英知を結集して頂きますと共に、旧年にも倍しての会務へのご理解、ご助力の程をお願い申し上げる次第です。

ここに、会員各位ならびにご家族皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

「はじまりの予感」をテーマに歯科界の新たなる飛躍を願い

“93”熊本市歯科医師会 新年懇親パーティー



恒例の新年パーティーが1月23日（土）、午後7時よりニュースカイホテルの「玉樹の間」に於いておこなわれました。

平成5年1月23日（土）午後7時から恒例の熊本市歯科医師会新年パーティーがニュースカイホテル「玉樹の間」において一般会員121名、新入会員9名、同伴者30名、来賓11名（県歯科医師会会長・熊本市長・県議4人、市議4人、市保健衛生局々長・市民局々長）の計171名の出席により開催されました。

奥田洋実厚生委員の司会によりパーティーは始まり、初めに市歯科医師会々長中根俊吾先生より年頭の挨拶があり、来賓として県歯科医師会副会長福富義人先生・熊本市長の代読・県議八浪智行氏・市議会議長島田幾雄氏の御挨拶がありました。つづいて吉良直衛先生の乾杯で会食となり食事にお酒に歓談にと盛り上っていました。このあと新入会員が出身大学・開業場

所・趣味等について自己紹介しましたが中にはユニークな発言と新人とは思えない堂々とした態度に会場がわきました。



ここで当ホテルの名物男広田氏に司会が変わり、ますます会場が盛り上った感じでした。宴もたけなわとなったところで皆さんお待ち

ちかねの100万円以下の豪華な賞品やホテルのディナー券などが数多く当たる福引抽選がありましたが当たった人、はずれた人悲喜こももでした。まだまだ話しも尽きないところでしたが定刻の9時になりましたので鈴木副会長の閉会の辞でお開きとなりました。

なお、出席者全員にお渡ししました宝くじの抽選発表が1月30日の新聞紙上にあると思いますので御確認下さい。（厚生委員 内田隆）

会場でのワンショット



今年の新人はなれした新入会
員8人



若い頃の私ならこの写真集に
負けないのに



この大きさなら風呂でも使え
ますよ



嬉しい、主人より大事にしますワ



カラオケならデュエットでお
願います



腰の悪い私には、荷の重い賞
品



コップがないので、このまま
どうぞ?

長寿の木のプレゼント、まだ
まだ元気一杯

改正医療廃棄物処理法の説明会

3件の義務づけが法制化される



熊本市保健衛生局の主催で行われた説明会
に、75の医院のスタッフが集まる

熊本市保健衛生局清掃部清掃管理第一課の主催で11月11日、午後7時より県歯会館3Fにて、改正医療廃棄物処理法の説明会が行われました。清掃管理第一課の折田さんの司会のもと、甲斐課長のほうから説明がありました。当日は75ヶ所の病院、診療所から先生をはじめパラデンタルスタッフの方々の出席がありました。



この法令は平成5年4月1日からの施行となり、いまから準備をしてくださいと説明される衛生局の担当者

感染性疾患につきましては世論の関心が高まっているこの頃です。そこで法令化された医療機関等に本年度より次の3つが義務付けされて来ております。

平成3年10月に廃棄物処理法の一部が改正され平成4年7月4日に施行されたところですが、今回の法改正では医療機関から排出される廃棄物のうち感染の恐れのあるものが特別管理廃棄物として位置付けられ、様々な規制を受けることになっております。

1 特別管理産業廃棄物管理責任者の設置報告義務。

- ① 医療機関の管理者（院長等）は特別管理産業廃棄物管理責任者を設置しなければならない。〈法第12条の2第4項〉
- ② 特別管理産業廃棄物管理責任者を設置又は変更したときは、市長に報告しなければならない。〈省令第14条第4項〉

2 処理計画、管理規定

病院の管理者は、施設内で発生する感染性廃棄物の種類、発生量等を把握し、感染性廃棄物の処理計画及び管理規定の作成に努めなければならない。

※診療所については、感染性廃棄物の発生量が少ないことなどから、処理計画・管理規定の作成義務はないとされているが、できるだけ作成に努めること。

3 処理状況の把握（帳簿の作成・保存、処理実績の報告）

- ① 医療機関の管理者は、感染性廃棄物の処理に関する帳簿を備え、保存しなければならない。〈法第12条の2第7項〉

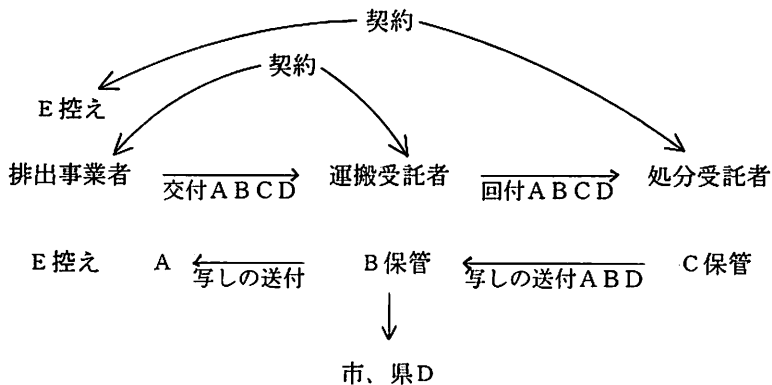
② 感染性廃棄物の処理状況を市長に報告しなければならない。〈省令第14条第6項〉

※帳簿の保存は1年ごとに閉鎖し、5年間保存すること。処理を業者に委託する場合は県又は市の許可を受けた運搬業者と最終処理業者両者との契約が必要で、マニフェスト方式にのっとり処理して下さい。処理状

況の報告では毎年6月30日までにその年の3月31日以前の1年間における処理状況を報告すること。尚今年度は暫定処置として提出しなくともよいことになっております。会員の先生方には今から準備をして下さる様お願い致します。

県方式のマニフェスト伝票の流れ

このマニフェスト伝票は5枚（A・B・C・D・E）つづり



このマニフェスト伝票は、排出者を法的に守る意味あいも一部ありますので、全面的な協力が必要と思われます。

（医療管理委員 沢木孝明）

『在宅歯科保健推進事業研修講演会』



特別講師として仙台市の現状と将来についての考えを述べられた杉本是孝先生

平成4年10月31日（土）午後2時から熊本市婦人カルチャーセンターにて、熊本市健康づくり月間行事の一つとして、『熊本市在宅歯科保健推進事業研修講演会』が催されました。

主催者として、熊本市長田尻靖幹氏（代読熊本市保健衛生局長工藤磐氏）の挨拶の後、中根俊吾会長から熊本市の現状の概要について説明がありました。続いて関剛一専務理事の座長のもと講演会に入り、伊東隆利学術担当理事が、熊本市の現況の詳細をスライドで説明され、92年4月～9月の実状ではかなりの伸びで実績を上げていると報告した。本日の特別講演は、仙台市立病院歯科医長を退職後、岩手医科大学非常勤講師等を歴任され、在宅・心身障害者の歯科医療（共著）、心身症の診療（分担）等の著書を出されておられ、現在仙台市にて開業の杉本是孝先生をお招きして行われました。仙台市では、65歳を越える老人人口が21世紀初頭に全体の約16.3%になると予測される問題に対し、87年から寝たきり者等に対する在宅歯科治療に取り組んでおり、今までの経験から有病者でなく有所見者と言う考えに基づく治療を行っているが、年間600件以上の往診には対応できず個人に

お願いするしかない、在宅歯科医療の先進地としての悩みと限界を述べられ、又、杉本先生独特の『歯の後に心がある』との考えも披露され出席者の共感を得られておられました。最後に熊本市保健衛生局衛生部長の森泉氏からお礼の挨拶の後、中根会長から感謝状の贈呈があり盛会裏に幕を下ろしました。



熊本市歯科医師会の92年4月～9月の在宅歯科保健の実状を説明された会場

（医療管理委員 尾上宏）

救急蘇生法研修会



11月24・27日の両日にわたり150名の
スタッフドクターが集まった実習会場

熊本市歯科医師会の学術、医療管理委員会合同の主催による救急蘇生法研修会も毎年の恒例行事として行われ、今年も参加者の人数の関係から11月24・27日の両日にわたり開催された。この企画も回を重ねる度に参加者も増え、先生・スタッフと医院一体になった救急蘇生に関する実技訓練というべき内容で行われ、好評を博している。

本年からは、救急蘇生法の解説にアメリカ医師会の編集によるビデオが使われた。内容はドキュメンタリー風に構成され、様々な救急場合における対処法をわかり易く解説されたものであった。ビデオを共覧の後、参加者全員による人体ダミーを使用した実技訓練が行われた。各医院ごとに2人1組になり、人工呼吸と心マッサージを交互に練習するという形で行われ、各自熱心に取り組まれていた。特に人工呼吸では息の吹き込みが難しく、さらに1、2分程持続させるにも息切れするなど、手技の困難さに加え、その大変さも痛感されていたようであった。最後に伊東学術担当理事により当日の研修内容の総括と注意点の復習解説がなされ、実りの多

今年からアメリカ医師会の編集の救急蘇生法のビデオを使用してわかりやすい研修が催された。



実習の前に行われた伊東理事による解説

い研修内容であった。

本研修会による救急蘇生の実技訓練は、いわば救急処理の疑似体験をすることで実際の対処法を取得することに加え、医院が一体となったチームワークを組み、各自の分担を認識することにもあり、その様な意味からこの企画への医院単位での参加は大変意義深いものであると考えている。今年は更に多くの医院が参加されるのを期待したい。

なお、参加された方の名簿は34、35頁に掲載しました。

(学術委員 永田省蔵)

第11回 九州八市

歯科医師会役員連絡協議会

“成人歯科保健に協議集中”



日時 平成4年10月23日（金）午後3時より

場所 福岡市歯科医師会第2会議室

標記協議会は今年度、九地連学会地福岡市に於て開催された。予め各市歯科医師会より協議を一題提出し、当日提出協議題にそって協議会を行った。

各市歯科医師会からの提出協議題は下記の通りであるが、今回は特に成人歯科検診の各市の状況、老健法における歯科検診の現状と取りくみ方、企業検診の実施状況等成人歯科保健についての協議に集中した様に思えた。

本会ではすでに事業の中に行政及び医師会との連携を密にし、会員各位の協力を得ながら熊本市の委託事業として在宅寝たきり者の歯科検診、診療、熊本市職員の歯科検診、及び平成5年4月より行うデイスサービスセンター長寿の里に於ける歯科検診、診療等成人歯科保健に於ては特に各部会に分けて臨時委員会を設置し会務として執行している所であり、各市歯科医師会にその目的・状況等資料を添えて報告を行った。

提出協議題

(1) 広告規制に関し会としてどのような対応をしているか。

イ. 医療機関の広告について

ロ. 従業員の募集広告について

〔大 分〕

(2) 老健法における歯科検診の取り上げ方と実施されていれば、その実施内容についてお聞きしたい。

〔佐 賀〕

(3) 各地方自治体の老人保健福祉計画について（第3次老健法改正に伴う）

① 計画策定構成メンバー

② 進捗状況

〔長 崎〕

(4) 開業問題について

- (1) 新規及び移転（特に他の市郡歯会からの移転）開業については、どのように対応をしておられますか。
- (2) 歯科医院は今後益々増加の傾向にあり、良質な歯科医療を守る為にはそろそろ歯止めも必要かと思われるが、今後行政への働きかけで何かよいお考えがありましたらお聞かせ下さい。

（例えば病院のベッド規制等）

〔鹿児島〕

(5) 産業歯科に関する歯科医師会の対応と活動状況

（企業検診の実施状況など）

〔宮 崎〕

(6) 成人歯科検診の施行状況（下記事項）についてお教え下さい。

経緯：発足の事情（行政要請か歯会活動か）、補助金の有無

方法：健診人数・回数・料金（検診範囲）・場所（施設検診・集団検診）

実績：年間受診者数、波及効果

〔沖 縄〕

- (7) 市民より歯科に関する相談、治療についての問い合わせ（電話等）及び苦情等についてはどのように対処されていますか。

〔福 岡〕

（専務理事 関 剛一）

第10回 熊本市民健康講座にて、関専務講演を行う



在宅歯科診療の困難な点を強調した講演をする関理事

日 時 平成4年10月29日(木)

PM 2:00～4:00

場 所 産業文化会館

標記市民講座は毎年熊本市民の受講希望者を対象として熊本市医師会主催により主に成人病について数回に分けて開催されるのであるが、歯科の分野から今回在宅歯科診療について講演

依頼があり、当日の受講者約60名にスライドを交え講演を行った。

高齢者に対しては過去何らかの歯科疾患を経験した人ばかりであり、各人の健康管理に対し

て非常に感心のある市民であるため受講に際しての心構えも熱心であり、8020運動に対して理解が出来たと思う。特に在宅寝たきり者の歯科診療の困難性を訴え、寝たきりになる前の歯科健康管理が重要であると力説した。歯科検診を含め歯科啓蒙活動で重要な事は人の生涯を通して疾患に一貫性を持たせる事である。つまりこの歯科疾患を放任しておけばこの様な結果にな

ると聴衆に対してその結果を十分に認識させる事が最も大切である。又、生涯歯科保健を推進する上から高等学校卒業後の歯科啓蒙活動は充分でなく又その機会も少ない。

我々は産業歯科という立場から積極的に各企業での歯科検診・歯科啓蒙活動が今後重要であると思う。

熊本市歯科医師会学術講演会

「感染根管と非感染根管の 治療術式の違いについて」



講師 下川公一先生
(北九州市開業)

8月に予定されていた本講演会はあいにくの台風のため延期されていたが、去る11月14日、再度講演の運びとなった。多くの会員の方々から早急な開催が要望されていたこともあり、当日は多数の聴講者が参集された。



成功率の高い歯内療法には根尖部の病態の認識・把握が必要であり、その為には鮮明なデンタルX線写真が必須となると講演された。

今回の講演のテーマは、臨床において直視できない不明瞭な根尖部の病態の認識・把握から

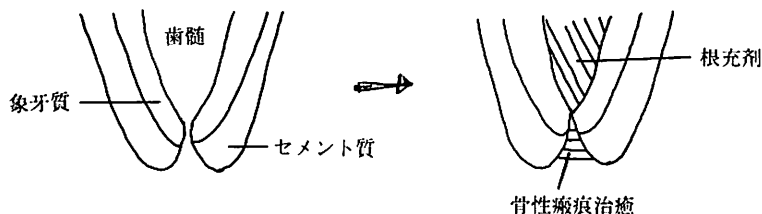
その術式が決定されるということから、歯内療法上、最も重要な点である感染、非感染根管に

おける根尖部の状況は図1のように考えられる。非感染根管では、統計上、解剖学的根尖孔から0.5～1mm上方に象牙セメント境（生理学的根尖孔）が位置する。よって、抜髄および根管充填処置では根尖から1～3mmアンダーの位置までの操作にとどめるということが重要である。以上の術式により、根尖部セメント質による骨性癒痕治癒を促し、予後における根尖部の確実な閉鎖を期待するという考え方である。一方、感染根管における根尖の状況は、その90%以上の頻度で根尖部の吸収が認められ、生理学的根尖孔が失われた状況にあると言われている。その場合、根尖部にセメント質が存在せず、処置後の根尖部の骨性封鎖は達成できない。よって、感染根管における術式では、感染物質及び抗原物質が徹底的に除去できるまで拡大し、根尖部まで十分に根充することが肝要である。

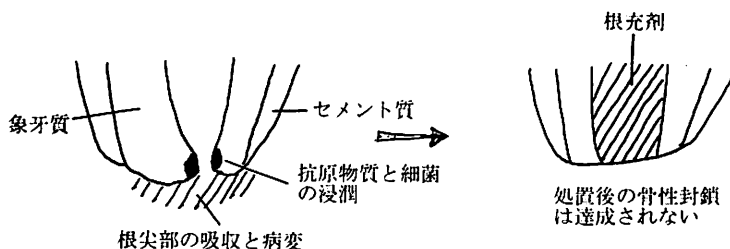
以上のような感染、非感染根管における根尖部組織の違いとそれらへの対応を理論的に述べられ、その様な病態をより確実に把握するためには鮮明なデンタルX線写真が必要であることから、更にX線の撮影方法の要点および像の読み方について数多くの臨床例を用い解説された。特に感染根管においては、吸収した根尖孔をより正確にとらえるための方法として根管内造影法についても言及され、様々な根尖状況への対応策を示された。

前述したように、概して日常の歯内療法では診断よりも技術的な面に重きが置かれ、術式においても画一的になりがちな面もあり、すべての症例に良好な経過が得られていない状況にあると思われる。本講演の要旨であつた的確な根尖部の病態診断を充実させることにより、成功度の高い歯内療法が可能になると考えている。

(図1)



(非感染根管における根尖部の状況)



(感染根管における状況)

(学術委員 永田省蔵)

第11回 ビデオ研修会

「クラウン・ブリッジにおける咬合印象法」

— 咬合調整にかかるチェアタイムの短縮を求めて —

学術解説 菊 川 明 彦
社保解説 本 田 亘

去る10月20日（火）、熊本県歯科医師会 3 F ホールにて上記の講演会が催された。講演に先立ち熊本市歯科医師会々長中根俊吾先生より、これまでのビデオ研修が実践的な内容であり今後も盛会を期待すると挨拶をされた。



咬合印象法は経費的、精度的、時間的に有効であると説明される菊川委員

まず、「シリコーン咬合印象法の術式」（昭和大学補綴学教室）のビデオを共覧後、菊川学術委員による講演に移った。

〈講演内容〉

我々が現在行っている間接法による補綴物の製作では、口腔内試適時に高くなる傾向にあり、それ故に咬合調整に時として多大な時間を費やすことがある。そこで補綴物の咬合接触関係を合理的に口腔内と咬合器上で近似させ、調整量の少ない製作法が求められている。咬合印象法は1回の印象採得で、上下顎の印象と咬合採得を同時に行うという方法である。今回は比較的操作が簡単で安価な寒天、アルジネート印象材を用いて行ったものの術式を紹介し、その有効性を述べる。

〈術式と留意点〉

1. 咬合印象採得 咬合印象用トレーを用い咬頭嵌合位で咬合させ上下歯列を印象することにより、同時に咬合採得もなされる。注意点として、印象前に患者に咬頭嵌合位を練習させ、トレーの試適も行っておく。
2. 石膏注入 寒天—アルギン酸印象法では石膏注入までの時間が寸法精度に影響することから、早期に上下顎同時に石膏注入を行なう。また、上下顎の咬合関係を保持するために上下石膏の前方と後方は注入時、一塊にしておく。

〈咬合印象法が有効と考えられる症例〉

1. 対合歯が部分床義歯の場合
浮き上がりがなく、機能状態下にある対合歯咬合面を模型上に再現することができる。
2. 咬頭嵌合位の定った遊離端補綴
口腔内では嵌合位が定まるが、上下歯列模型だけでは不安定な場合、すなわち、
① 最後臼歯を支台歯に含むクラウン及びブリッジ
② 遊離端欠損のある歯列中の支台歯

〈咬合印象法の利点〉

1. 時間の短縮 印象採得と同時に咬合採得が

できるためチェアタイムが短縮でき、また口腔外で模型を上下付着する操作がなくなり、印象から咬合器装着まで短時間でできる。

2. 材料の節約 印象材、模型材の量が必要最小限で済み、咬合採得材も不要である。

3. 口腔内での少ない咬合調整量 上下咬合関係を咬合器に再現する際、間接法における材料、または技術面からの誤差が少なく、また歯牙の偏位や下顎骨の歪みなど生体側からの影響も少ないと考えられる。

— 講演会のまとめ —

我々の臨床におけるクラウン、ブリッジの頻度が高く、印象・咬合採得および咬合調整の一連の操作に費やす時間の割合が大きいものである限り、その効率化は開業医として必要なことであると考えられる。そういった経費的、精度的、時間的にこれらの条件を達成するための術式として咬合印象法は有効な術式と言えるのではないだろうか。

(学術委員 永田省蔵)

「熊本市デイサービスセンター長寿の里」開所

— 平成5年4月より歯科室始動 —

熊本市が城山薬師町の4万平方メートルの敷地に建設中であった在宅寝たきり者のための長寿の里デイ・ケア・サービスセンターがこの程完成しました。

このデイ・ケア・サービスセンター内には全国で初めての常設歯科室が設置されています。この施設を利用する高齢者のために簡単な歯科治療が出来たら、との中根会長の発案で昨年から熊本市と交渉が進められていたもので、この程その必要性を行政側が認め歯科室設置となったものであります。

平成4年12月14日(月)長寿の里開所式に先立ち、熊本市市議会民生委員の方々の視察がありました。それに伴い熊本市歯科医師会より会長、常務他2名の理事が長寿の里に出向き説明を行いました。



4月から始動する歯科室の説明を受ける議員団

長寿の里、歯科室に設置されている診療ユニットは老人専用に特別に設計されたものであり、通常ユニットとの違いの他、歯科室設置の必要性等について説明が行われた。高齢の議員の方からは「私も、もうすぐ世話にならにゃんけん宜しくたのみますパイ」など冗談も出てなかなかの説明会となりました。

長寿の里は平成5年1月よりオープンですが歯科室は4月1日よりオープンの予定で準備が進められています。

(広報理事 寺脇 博)

委員会だより

口腔衛生委員会

第10回

熊本市民健康フェスティバル

— これからの健康、21世紀に向かって —

口腔衛生・学校歯科両委員会が歯科相談コーナーを担当する。

第10回熊本市民健康フェスティバルが、平成4年10月17日（土）、18日（日）の両日、熊本市総合体育館、青年会館を会場として開かれました。このフェスティバルは、熊本市民健康フェスティバル実行委員会が主催し、熊本県、熊本市教育委員会などが後援して毎年1回開催されています。今年も秋の好天に恵まれ、午前9時30分より体育館玄関前においてオープニングセレモニーが行われ、テープカットの後、待ちかねた市民の方々が入場されました。会場内では、「これからの健康、21世紀に向かって」を継続テーマとして、医療専門団体のそれぞれの専門家が、市民の健康相談に応じました。熊本市歯科医師会は、学校歯科委員会の応援を得て、歯科相談コーナーを担当しました。このコーナー

では、歯科医師が歯科相談をうけ、衛生士会の方が刷牙指導、技工士会の方が技工物の展示説明をされ、1日目133人、2日目130人の合計263人の市民の相談に応じました。また今フェスティバルの特色となりました在宅ケアに関して、健康劇「みんなで支える在宅ケア」が上演され、ばってん荒川指導のもと本委員の斉藤先生も熱演されました。またシンポジウム「みんなで支える在宅ケア」が青年会館で開かれ、本委員の与儀先生が寝たきり老人に対する歯科保健の在り方を説明されました。かくして2日間に11,000名の市民の参加を得て、本年度の健康フェスティバルは盛会のうちに終わりました。

（口腔衛生委員 岩村公一）

広報の窓

「中岳」79号の20ページ 委員会対抗ゴルフ大会の著者、学校歯科委員 斉藤 健という項が欠落していました。訂正しおわびいたします。

第9回 地域成人保健研修会

— 保健・医療・福祉・地域のネットワークを見直す —



寸劇による関連職種の紹介と
在宅ケアの諸問題の提起

高齢化社会へ向かっている現在、在宅の高齢者、特に障害を持つ高齢者が増加の傾向にあります。その為この様な人達を取り巻く関連職種間の連携を主とした在宅生活の支援システムが必要となってきました。そこで今回のテーマは「保健・医療・福祉・地域のネットワークを見直す」。またサブテーマを「小さなつながり、大きな効果」とし、在宅ケアに対し関連職種の相互の連携を深める為にはどの様にすればよいかと言う事で、15団体から150名の参加があり、活発な意見交換がなされました。

この研修会では恒例となっている寸劇で、各関連職種の紹介及び在宅ケアに対する問題提起があり、その後公開座談会が行われました。それぞれの職種の立場からの問題点、また今後お互いの連携のとり方など40分以上オーバーして座談会が行われ、早期のネットワークを見直す必要がある事を痛感しました。また熊本市歯科医師会で行っている「在宅寝たきり者歯科保健推進事業」に対しては、医師会、その他関連職種の方々から非常に高い評価をされており、これも会員皆様方のおかげと心から感謝致します。研修会終了後懇親会が行われ盛会のうち終了。

12月5日（土）午後1：30より、リデル・ライト記念老人ホームに於いて、「第9回地域成人保健研修会」が行われました。



40分もオーバーして行われた公開座談会

寝たきり老人や障害者を支えるために
多くの人達がいいます。ここに一部
の職種を紹介致します。

ホームドクター（主治医）

相談にのっていただける医師をもつことは、家庭環境や家庭への理解も深く、健康指導や療養指導が適切に得られます。またいざというときに対応してもらえます。

看護婦・准看護婦

家庭において療養を行っている寝たきりの状態にある患者さんへの訪問看護も行われております。主治医・保健センターにご相談をしてみたいかがでしょう。

保健婦

保健所または保健センター、市町村にいる保健婦は実際に寝たきりの方の家を訪問し、その人に応じたアドバイスを行っています。細かいところまで手が行き届くのではないかと思いますので、どうぞご相談ください。

理学療法士

障害をもつ人々が仕事や家庭生活へ早く戻れるようにリハビリを行う専門職です。仕事の内容は障害をもつ人に座る・立つ・歩くといった動作訓練をしたり、温熱や電気刺激を用いて痛みをとる治療をおこなったりすることです。医療機関のみならず保健所でも活躍しています。

歯科医師

歯が痛い、義歯の工合が悪い、その他異常があったら、まずは近くの歯科医院に遠慮なくご相談ください。現在、寝たきりの40才以上の方の往診も出来るようになりました。保健所・保健センターへ相談してみてもいいでしょう。

歯科衛生士

歯科医師の指導のもとに医療の補助行為に携わっています。また、歯の各種の病気の予防処置（歯石除去など）や口腔衛生指導などを行う歯科保健のスペシャリストです。保健所でも相談に応じます。

栄養士

食物と栄養に関する知識をもとに「栄養についての管理と指導」をいたします。保健所などでも栄養相談やアドバイスも担当しています。

作業療法士

身体または精神に障害を持つ人が仕事や家庭生活に早く戻れるようにリハビリを行う専門職種です。

仕事の内容は、作業に含まれた多くの動作を使って身辺動作や家事動作仕事の復帰を目指した訓練を行います。そして、障害をもった人の残された機能を最大限に活用し楽しく生活出来る

るようにお手伝いします。

薬剤師

熊本県薬剤師会では、薬についての相談全般を医薬情報センター（薬の110番）で薬剤師がお受けしています。なお、基準薬局登録制度導入が始まり、くすりのチェックをうけることも可能となりました。

社会福祉士・介護福祉士

1987年社会福祉士及び介護福祉士法により資格を有した者が専門的技術をもって在宅介護支援センターや施設で活動しています。

老人福祉施設職員

老人ホームには養護老人ホーム、特別養護老人ホームなどがありますがそこではおおくの職員（生活指導員・寮母）が入所の方々のお世話をしております。

言語治療士

ことばの治療の専門家です。どのくらい聞いたり、しゃべったりするのに障害があるかを詳しく調べその分析にもとづいて患者さんに最もよい治療プログラムをつくりことばの治療を行います。

ソーシャルワーカー

病院では、MSWと略称されているのが医療ソーシャルワーカーのことです。思わぬケガや病気で入院しますと家庭のこと、職場のこと、経済的なことで心配になります。このような時にご相談に応じ問題の解決に向けてのお手伝いをするのが仕事です。また、福祉事務所では、ケースワーカーが生活困窮の方々への相談に応じます。

ホームヘルパー

正式には家庭奉仕員といいますが寝たきりや痴呆など高齢や心身の障害、傷病のため、日常生活に支障があるおおむね65才以上のお年寄りがある家庭に対して派遣されます。具体的なサービスは介護介助、家事援助から相談・助言ま

で多岐にわたっています。利用に際しては、市の老人福祉課、在宅介護支援センター等に相談されると良いでしょう。

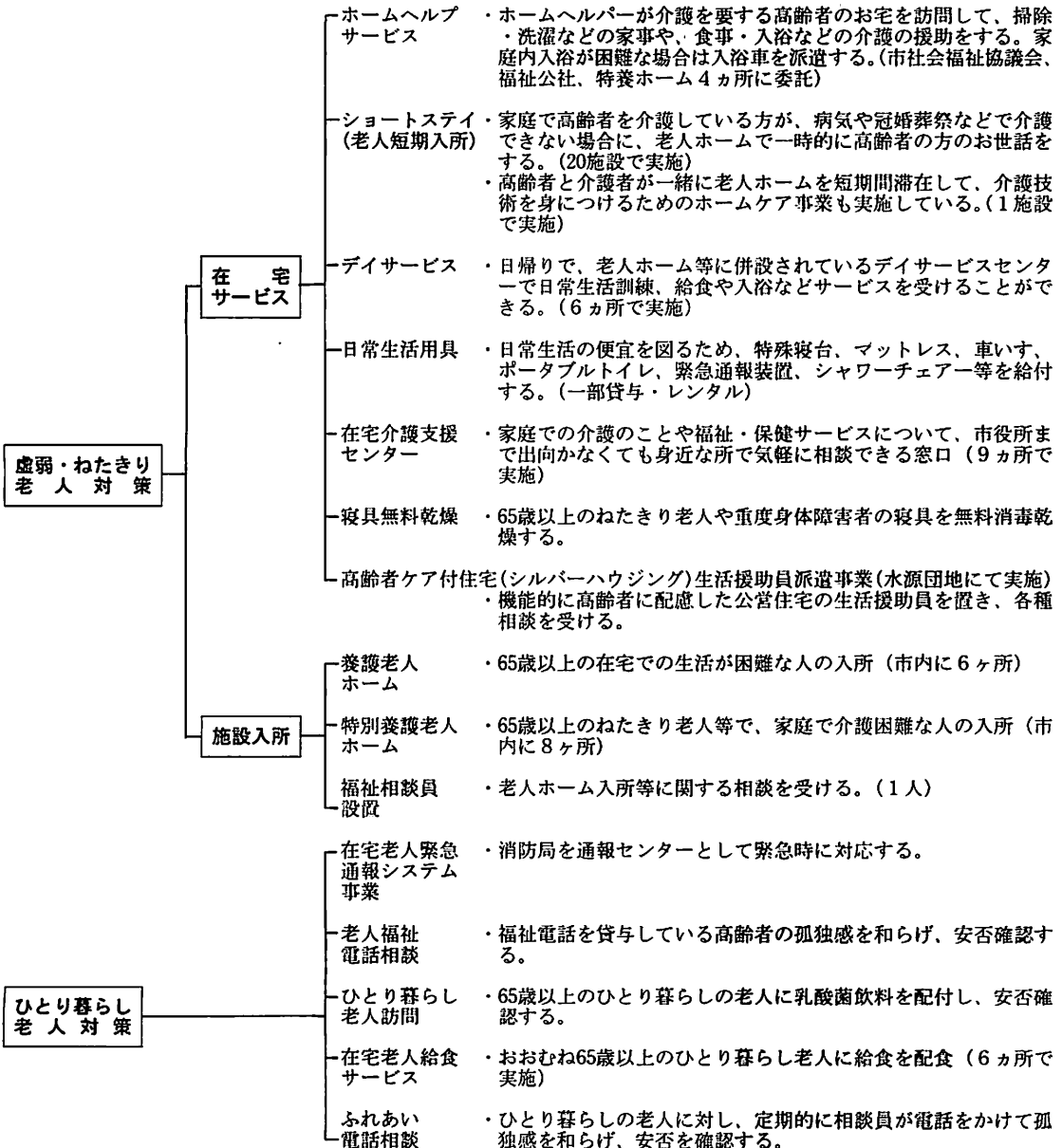
民生委員

職務の範囲は広く、老人、心身障害者、児童、母子、生活保護などの福祉問題に限らず、日常

生活の中で困ったことが起きたときや相談したいことができた場合には、相談されると必要な助言をしてくれるとともに、行政への橋渡しをしてくれます。

最も身近で気軽な相談先といえます。

熊本市の高齢者福祉対策（H4.11老人福祉課）



(口腔衛生理事 矢毛石 豊)

「熊本市立幼稚園児のフッ素塗布と歯磨き指導」



希望者に行われたフッ素イオン導入

12月8、9日、熊本市の市立幼稚園に於いて、フッ素塗布と歯磨き指導が行われました。

8日は碩台、一新、五福、古町の4つの幼稚園で、9日は川尻、向山、楠の3つの幼稚園で実施されました。

今回は7月に続いて本年度2回目で、各幼稚園とも50～60名の児童を対象に行われました。まず、衛生士学院生による歯磨き指導が行われ、これは母親が児童の口腔内を染め出し、歯垢が

付着しやすい所を見てもらい、また、いかに歯がよく磨けていないかを認識した後で、歯ブラシの使い方や大きさについての説明が行われました。その後、児童のフッ素塗布（希望者）が行われている間、保護者に対して口腔衛生委員によるフッ素の効果、安全性についての説明が行われ、熱心に耳を傾けておられました。



おかあさんの口腔内の染め出し

（口腔衛生委員 岡本 寛、笹原慎一郎）

学校歯科委員会

第56回

全国学校歯科保健研究大会 「学校歯科保健の包括化」

— 発達段階に即した学校歯科保健活動と生活化を図るためにをメインテーマに —



11/13、11/14の2日間にわたって阿波踊りでおなじみの徳島で行われた協議会会場

第1日目は、開会式、優秀校の表彰式、昼食時には阿波踊りのアトラクションもあった。昼からは作家、渡辺淳一先生の「それぞれの才能」という記念講演・シンポジウムと続き、座長を中心に活発な意見交換が行われた。

第2日目は、各部会に別れ、幼・小・中・高とそれぞれが部会別に公開授業・領域別研究協議会が行われた。幼稚園・保育園部会では、各園の先生・衛生士による

- ・自主的に健康な歯づくりに取り組む幼児の育成
- ・進んで健康なからだをつくる幼児の育成
- ・0歳児からの歯科保健指導の実践
- ・南国市における保育所・幼稚園の年長児を対象とした保健指導の実践

と題した研究発表があり、各施設の工夫した保健指導取り組み方、中には歯のための給食・おやつ工夫など、興味を引く内容であった。

その後、質疑応答があり、検診用紙でう蝕部

位を黒くぬりつぶし、う蝕の本数を指摘することで保護者に対するインパクトが強くなるという意見に対して検診結果と実際のう蝕本数がちがう事で校医に対する信頼度が落ちるなどの反対意見があり、活発な意見交換が行われた。

昼からは、各部会、研究協議会の報告、休憩後、4つの議案についての全体協議が行われ、夕刻、閉会式となった。

尚、来年度は埼玉県で開催予定である。

(学校歯科委員 竹下憲治)

歯 磨 き 巡 回 指 導

恒例となっている歯みがき巡回指導が、平成4年10月20日から3日間にわたり行われた。

熊本市に合併した飽託4町のうち天明地区が、毎年9校ずつという制限で前年度巡回出来ず、今年度は巡回の中心となり次の様な日程となった。

時間 月日	午 前		午 後
	9:00~10:00	10:30~11:30	2:00~3:00
10月20日(火)	白坪小 966名	中緑小 113名	川口小 184名
10月21日(水)	川尻小 713名	銭塘小 158名	奥古閑小 311名
10月22日(木)	古町小 239名	画図小 712名	健軍小 600名

(健軍小のみ対象は1～4年生)

子供達に、歯の大切さを認識させる為の動機づけが、非常に重要となっている。

ライオン歯科衛生研究所講師のサルのぬいぐるみを使用しての話では、確かに低学年の注目

度は高いものだったと思われるが、1年生から6年生という学年差は大きく、同じ話では高学年にとって、もの足りないものだったのではと感じられた。

それでも、ハミガキ体操は、元気よく、熱心に行っていた。



動機づけが重要となる巡回指導

(学校歯科委員 大園正人)

歯科医業実態調査結果報告（平成4年12月）

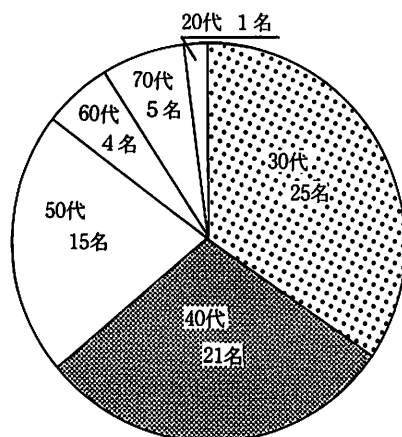
対象歯科医療機関 287件 回答件数71件

最近、歯科医療機関の増加による競争の激化や歯科医業収入の伸び悩み、人口の高齢化、歯科医療ニーズの多様化など取り巻く環境は厳しく変化しています。また、歯科医療に共同の役割を果たす歯科衛生士、技工士など医療スタッフは確保、充実に困難となってきました。魅力ある職場として、専門職としてのスタッフの役割を尊重し、患者に評価され、やりがいのある仕事となるよう、スタッフをリードする必要があります。同時に給与等の待遇改善や就業規

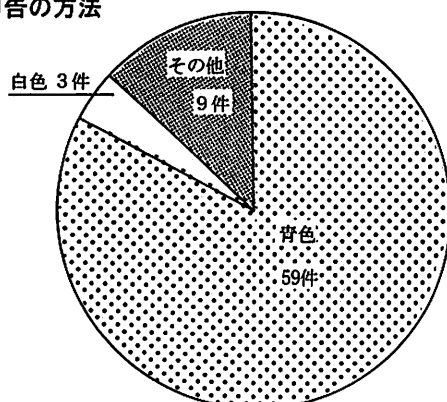
則による労働条件の明確化や労働条件の改善の努力、更に退職金など将来性も求められています。

昨夏、会員諸先生のご協力により歯科医業実態調査を行い、結果がでましたので報告いたします。初任給等上昇傾向のものもありましたが、残念ながら回答が少なく、分析が充分できないものもありますので総括的にまとめ、概略を報告します。ご不満も多いと思いますが、御参考になれば幸いに存じます。

1. 年齢



3. 申告の方法



2. 平成3年度総収入

最低1000万円未満～最高1億円以上で3000万円から6000万円までが最も多かった。一診療所あたりの総収入のため歯科医師数や年齢で差がみられた。

4. 専従者給与

最低48万円～最高725万円（年間）で月額30万～35万円が最も多かった。これは収入や年齢で差がみられた。

5. 医院の人員構成

《歯科医師数》

1名 53件 2名 16件 3名以上 2件

	歯科技工士	歯科衛生士	助手・受付
1名	31件	19件	18件
2名	9件	15件	21件
3名	0	12件	11件
4名以上	2件	4件	11件
※いない	29件	21件	10件

6. 平成4年の改正での保険点数は？

上昇 31件 下降 1件 不変 43件

※前装冠の導入やブリッジの変更で保険点数は良くなったが、自費収入が減った等もあり、改正後の期間が短く年度全体の収入変化は不明

7. 平成4年に新人・中途採用者の待遇

	基 本 給			諸 手 当	
	最高	最低	平均	最高	最低
新人技工士	136900	120000	128500	26000	25000
新人衛生士	140000	100000	124000	30000	6000
中途衛生士	152000	120000	135000	65000	8000
新人助手	125000	93000	109791	30000	3000
中途助手	140000	110000	125938	30000	3000

8. 上記以外の従業員の待遇

	基 本 給			諸 手 当	
	最高	最低	平均	最高	最低
技 工 士	265000	133000	200566	180000	20000
衛 生 士	185000	92000	139163	72000	10000
助手・受付	164000	81000	123000	40960	3000

※年齢や経験年数でバラツキがみられた

9. 就業規則について

ある 46件

県歯科医師会製 23件 自家製 21件
その他 2件

10. 診療時間

《平日》

	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代
9:00～17:30		1	1	2		
9:00～17:30		10	11	2	2	2
9:00～18:00		2	3	1	2	2
9:00～18:30		3	1			
9:30～18:00				2		
9:30～18:30	1	3	2			
そ の 他		3	1			1

《土曜》

	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代
9:00～11:30		1		1		
9:00～12:00		3	1	2	1	2
9:00～13:00		8	11	9	3	1
9:00～18:00		3	1			
9:00～13:00		5	1	1		
そ の 他	1	5	7	4		1
休 診				1		1

11. 週休2日制を採用している

(1)している 9件

(2)2週1休などその他 31件

(3)していない 31件

12. 退職金制度について（公的退職金制度を利用しているか？）

院長本人 (1)加入 27件 (2)未加入 41件

従業員 (1)加入 24件 (2)未加入 43件

13. 救急時の支援病院を利用されたことがありますか？

(1)ある 6件 (2)ない 65件

利用された方でその時の状態は

神経系 3件 循環器系 2件

誤飲 1件

14. 救急蘇生の器具と薬品で持っている物は？

(1)聴診器 36件 (2)血圧計 58件

(3)酸素ボンベ 55件

(4)注射器セット 50件

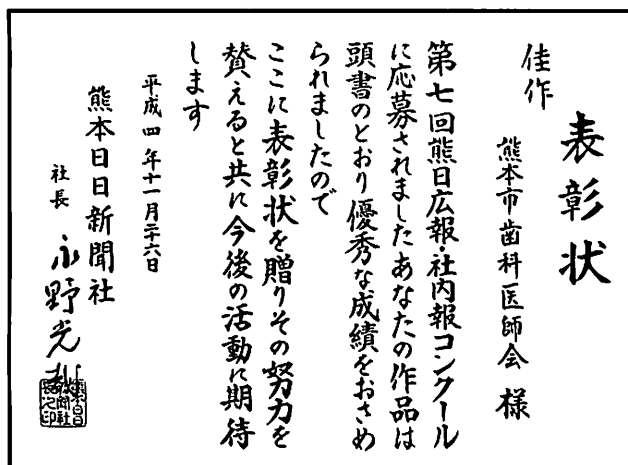
(5)救急薬品 55件 (6)その他 3件

この他九州八市歯科医師会より資料をいただいておりますが、本歯科医師会とほぼ同様の傾向であるため、今回は割愛させていただきます。また、アンケートで項目によっては回答がないため71件に満たないものもあります。

尚、詳しい結果につきましては後日小冊子によりご報告予定です。今回のアンケートでは回答が少なかったため、結果分析が十分ではありません。次回からは是非ご多数のご協力をお願いいたします。

広報委員会

「中岳」熊日広報・社内報コンクール 佳作に入賞



広報委員会は、昨年11月に実施された、上記のコンクールに「中岳」を応募した。

その結果、佳作に入賞を果たし、思ってもいない高い評価を得ることができた。

私達が季刊誌づくりを始めて、はや2年がすぎ、「中岳」も基礎づくりが完成しつつあるようだ。また最近では、会員内部からの評価も得られるようになってきた。しかし、外部からも、厳格で客観的な評価を受けたいという希望も生じ、今回のコンクールに応募。受賞に至ったのである。

こうしたことから、「中岳」もようやく季刊誌として、社会的に認められたと言えるかもしれないが、いまの状態に満足せず、よりよいものを作るように精進したい。

(広報委員 永野 忠)

12月移動理事会

— 昨年に続き杖立温泉で行われる —

例年おこなわれております社団法人熊本市歯科医師会の12月の移動理事会は、昨年に引き続き杖立温泉（大自然）に於て12月5（土）、12月6（日）1泊2日の日程でおこなわれました。5日（土）ゴルフ組6名（中根会長、本田、寺脇、古賀、赤城理事）そして私（山室）は天津ゴルフクラブに於て、9時から2組に分かれてスタートしました。うす曇で風が強くあまりよいコンディションではありませんでしたが、和気あいあいの中でお互にケンセイしながら楽しくスタートして行きました。当然のことながら「馬」あり、「チョコレート」あり。ダブルペリア方式で優勝の予想がつきませんが、ハーフを上った時点ではout 40で中根会長が断然優位、寺脇理事も久しぶりの44でニコニコしながら「ゴルフはやさしい」等々、機嫌よく口数の多いこと。しかし中根会長はじめ他の理事の先生方もinでくずれ、特に寺脇理事は青菜に塩、赤城理事には御苦勞様とでも言いたい所でした。

最後に笑ったのは私です。前記の3賞は総て私がいただくことになりました。優勝者がこの原稿を書くことになっておりますので、現在心良く書いております。スコアは右記の通りです。

ゴルフ組は4時半頃杖立温泉に到着、他の理事の先生方も全員、前後して到着。ゆったりと温泉にひたり、6時半で宴会が始まり、美味しい料理に酒も進み、カラオケも1人2、3曲。中には1人しかいない女性をむりやり誘いデュエット（本田理事）又国籍不明の歌（鈴木副会長）等々で時間の過ぎるのも忘れ、9時半頃宴会は終わりました。その後、マーじゃん組と飲み直し組（アル中？）各部屋に別れて、2時過ぎ

まで楽しく過ごしました。明けて6日（日）朝風呂をあびて、8時朝食、8時半から理事会開会、中根会長の短い挨拶、鈴木副会長の議長のもと会務報告、協議とスムーズに進み、10時閉会。その後中根会長達は杖立川で釣り（昨年は1匹も釣れず）を予定されていましたが生憎小雨が降り出し、釣りを諦め、それぞれ手土産を買って帰路につきました。親睦を兼ね有意義な楽しい移動理事会でした。

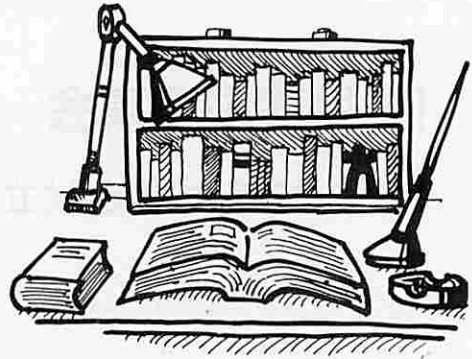
ゴルフの結果

	out	in	TOTAL	H.D.	NET
山室紀雄	45	43	88	14.4	73.6
寺脇 博	44	49	93	18.0	75.0
中根俊吾	40	49	89	13.2	75.8
古賀 明	44	49	93	16.8	76.2
本田 亘	50	50	100	21.4	78.6
赤城公徳	59	63	122	33.8	88.2



（山室紀雄）

勉強部屋



きれいなX線写真を得るポイント

— 特に現像処理を中心に —

木村 浩 幸

〈はじめに〉

あなたは現在のX線写真に満足していますか？
X線写真の目的は大きく分けて

1. 診 断
2. 経過観察

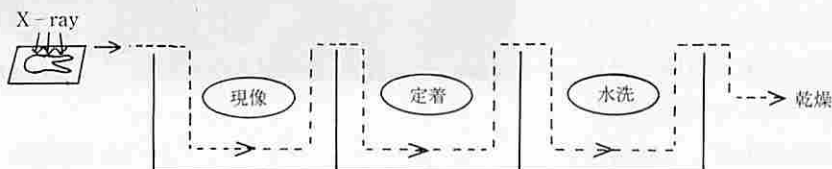
の二つが挙げられます。これを満たすためにはまず第一に、読影に耐え得る“きれいな”写真でなくてはなりません。それには

1. 黒化度が適正である
2. コントラストがよい
3. 変色やキズがない

が挙げられるでしょう。また、撮影の際には角度や位置付けなどの撮影技術が必要ですが今回は割愛させていただき、現像処理を中心に説明させていただきます。

〈現像処理の基本〉

それでは、まず始めに現像処理過程の基本について簡単に説明します。図式化すると以下ようになります。



現像：フィルム上のX線照射された部分のハロゲン化銀を金属銀へと変える

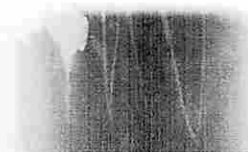
定着：未現像のハロゲン化銀をフィルム上から洗い流す

以上のことはいまさら説明するまでもないと思われかもしれませんが、これらの一連の過程を経て一枚のX線写真ができあがります(写真1)。CrやBrでも印象から鑄造研磨までの各ステップで気が抜けないのと同様に、きれいなX線写真を得るためにはすべての過程で一定の条件を満足しなければなりません。



(写真1)

では、これから“きれいでない”X線写真となった場合、考えられうるその原因と対策についてまとめると、次のようになります。

黒すぎる写真 (黒化度が高すぎる、 例：写真2) 	・現像液温が高すぎる ・現像時間が長すぎる→説明書に従う ・カブリ(露光など、放射線以外の原因によって作られるフィルムの濃度) ・撮影時間が長すぎる(照射過度) ・現像液が濃い
白すぎる写真 (黒化度が低すぎる、 例：写真3) 	・現像時間が短かすぎる→説明書に従う ・現像温度が低すぎる→とくに冬場に注意 ・現像液の活性が低下(液の疲労)→3週間に一回は交換 ・現像液の希釈しすぎ ・定着液時間が長すぎる ・撮影時間が短い(照射不足)
画像の欠落、シミやムラ (例：写真4) 	・現像液の量が不足(フィルムの一部が液に十分浸っていない)→液の補充 ☆現像液の揮発 ☆現像枚数による液の減少 ・フィルムの接触 - フィルムとフィルム - 現像液中→重なった部分は白い像となる - 定着液中→重なった部分は茶色いシミ - フィルムと処理タンクの壁面 ・非常に短い(30秒以下)現像時間 →まだら模様、しま模様 ・水洗水の水アカ→毎日交換
コントラストの不足 (例：写真5) 	・現像時間、液温、濃度の不適 ・照射不足・過度 ・水洗不良 ・カブリーフィルムは冷所に貯蔵(冷蔵庫では湿る恐れあり) ・フィルム使用期限ぎれ ・貯蔵中のフィルム被爆(鉛容器に貯蔵)
フィルムのキズ	・フィルム開封時爪や器具による不注意な取り扱い ・自動現像機のローラー上の異物やゴミ ・ローラーの空回り

以上、現像処理を中心にきれいなX線写真を得るためのポイントを挙げて参りましたが、これはスタッフの理解と協力も必要不可欠です。

一緒に検討されることをお勧めします。また、補足、追加や御助言等ございましたら、私まで御一報いただけましたら幸いです。

支部だより

東部2 支部旅行

一夜のイビキ合戦が白熱



9月26、27日は年に1度の支部旅行で今年は杖立温泉にくり出しました。人数は11名とやや少なめでしたが、お酒が入ると1人が2人分の働きをして総勢20名位いの宴会と思える程の盛り上がりとなりました。

その後は2次会へほぼ全員出席。市内ではチョット味わえない雰囲気ので平均50才すぎの美人がいるスナックへ……。昔の映画館の様なトイレの臭いがただよっていました。

30分が限界!!

誰ともなく出ようかということになり退散。

旅館では部屋割でやや難航しましたが、イビ

キをかく先生、イビキをかかない先生にと分かれることになり、イビキ組をライオンの間（堀川先生、椿先生、宇治道孝先生、松本一之先生、寺島先生、古賀先生、上原先生）、イビキなしの組を静乃間（西川先生、吉永先生、津野田先生、松本光示）とに分けて一件落着。

ライオンの間から上原ライオンがバッグを持って脱走を試みましたが失敗。ライオンの間では一晩中ライオンの吠える声が絶えなかったそうです。

ゴルフの当日は朝から雲一つない秋晴れで場所を東急ゴルフ場に移し2組8名で和気あいあい好プレー珍プレーありのゴルフを楽しみました。

結果は 優勝 松本光示

2位 上原凡由

3位 古賀 明

B B賞 宇治道孝

(東部2 松本光示)

グループ旅行

熊本歯科臨床集談会

— 平成4年10月3、4日佐賀路の旅(武雄、嬉野、有田、祐徳稲荷) —

3日土曜、午前の診療を終えて午後2時30分、三々五々県庁東門前に集合、快晴の秋空の下、マイクロバスで出発、国道3号線を北進、植木インター近くで待っておられた内藤七郎、啓一

先生、をお迎えして全員揃ったところで更に北へ進む。5時近く、武雄市から約10km、次第に道は狭くなりマイクロがやっと通る程である。かねて相談しておいた黒牟田焼の窯元が見えて

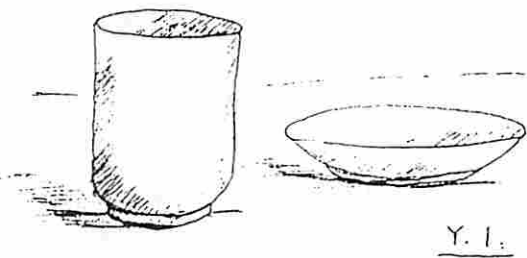


来た。山間の静かなたたずまいである。奥さんのお出迎えを受け、お茶を頂き、作業場へと案内される。二階の作業場では、おばさん達が今まで仕事をされていたらしい素焼きの製品が棚の上にあっちにズラリ、こっちにズラリ、湯呑み、皿、花器、壺、いろいろなものが並んでいる。窯元の丸田宣政氏から一応の説明を聞き、早速素焼きの湯呑みを手にしてそれぞれ思い思いに絵や字を描いてみる。なにしろ初めてのことでもあり思うように筆が動かない。それでも皆さんなかなか良い絵や字が描けていたようです。後はどのような物になるか楽しみにして、ここでの初めての実習？を終え、自宅の庭には尺余の見事な錦鯉がゆうゆうと池に泳いでいるのを見て、窯元の皆さんの見送りを受けながらここを後にする。楽しい一時でした。夕闇迫る6時45分頃今日の宿、嬉野の「清流」に着く。早速旅装を解いて温泉に浸り、広間での宴会は奥さん方をまじえて和気あいあい、世も山話に夜の更けるのも忘れて談笑にふけり、明日を楽しみにお開きとする。翌朝朝食を済ませて9時10分、嬉野の肥前夢街道に向かう。小高いところに江戸時代の様々なものが再現され、関所あり代官所あり、庶民の暮らしあり、江戸の昔はかくもあったかと暫しその昔を偲ぶ。買い物したり、写真を撮ったりしながら一回り、ここでも素焼きの湯呑みやその他に絵付けがあり、描いておられる方もおられました。どんな名作？が出来ましたでしょうか？、タイムトンネルを出て10

時30分ここを出発、有田の陶器卸売団地に11時頃着く。約20m巾の道を挟んで左右に約20軒程洒落た近代的な陶器専門の店が軒を連ねている。どの店を覗いて見ても喉から手の出そうな良い焼き物が目を楽しませてくれる。ここで今回参加されませんでした先生方に心ばかりの花器を、皆で相談の上お送りすることにいたしました。

12時30分頃ここを後にして礪州窯の店で昼食、ここにはちょっと変わった面白い焼き物があったようです。時間に余裕がありましたので、九州の地に居ながらなかなか行く機会がなかった祐徳稲荷に行ってみることにしました。ここは御承知のように三大稲荷の一つ、山裾に広がる広大な地域、緑の木々を背景に朱色の社屋が浮かんで見える。日光の東照宮を思わせる極彩色の華麗な社屋。それぞれ皆の健康と繁栄を祈念し、暫くあたりを散策し3時40分、ここを後にする。秋の紅葉には少し早いようでしたが取り入れ前の黄金の田んぼ、コスモス揺れる、佐賀路を後に夕暮れ間近の6時過ぎに熊本に無事到着、初秋の佐賀路を奥様方と共に楽しい旅でございました。最後にお世話を頂きました宇治先生、吉永先生御苦勞様でございました。

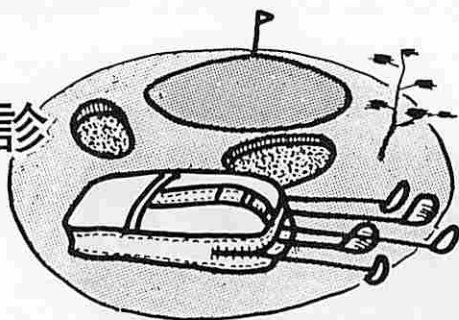
稲穂色づく 旅路のバスは 一直線に高速を
手にとりて 紅葉を素焼きに 描いてもみ
祐徳は 何を祈らん 秋早し
夕映えの 佐賀路にコスモス 色映える



Y. I.

1992.10.20 岩村泰行記

本日休診



「私の見た中国の歯科事情」

— 北京医科大学を訪ねて —

元 島 博 信



4人の先生と私筆者が大学から講義の招待を受ける

〈経済発展の著しい中国〉

北京医科大学口腔医学院から講義の招待を受けた。海外は今まで韓国美形歯科学会（'90ソウル）中国醫藥学院牙醫學系（'91台中）と経験し、今回は3度目である。'92・11月19日福岡より河原団長に糸瀬、増田、林明杰の各先生5名で全日空機で出発した。途中大連に寄港し、無事好天の北京へ着いた。宿泊した王府ホテルも豪華であったし、日本企業出資のゴルフ場もまたすばらしかった。食事は安くうまく、北京市民の表情も明るく、さすがGNPが2桁台へ伸びていることを実感した。今までの歯科事情について、マイナスの情報が伝えられ過ぎている気がするので、写真を多く示して、生の情報を伝えたいと思う。

〈中国の人口12億に33の歯科大学、毎年1000名の卒業生を送り出している〉



日常臨床のペリオとエンドについて講義をする筆写

張病院長の説明によると……。

本校は1912年北京国立医科専門学校として建立、いろいろの変遷を経て、1984年付属口

腔医学院として各科が整備された。

中国の大学設立母体は、国家、省、県と3つの形がある。本校は勿論、国家による設立大学であり、その規模やレベルは中国では最高である。面積は35,426㎡である。

中国は全国に33の歯科大学があり、毎年1,000名の卒業生を出している。学費は無料であったが、ごく最近少し必要になった。5年制と7年制の2つのコースがあり、5年制が60名、7年制が15名、大学院生が30～35名である。

教職員は830名で、その内93名の教授・助教授、85名の講師、88名の助手がいて、他にも世界の有名な先生が外来講師として教育や臨床にあたっている。

臨床科は16。ベッド数110床、290台のユニットがあり、人や物にもたいへん恵まれた環境にある。1日1650名以上の外来患者を診ている。科

別は日本とだいたい同じであるが、中医診室では、針と漢方薬による治療を行っている。他にCleftセンターやTMJセンターも持っていて、予防も9月20日を「愛牙日」と定めて院内外で啓蒙活動を行っている。

基礎も16講座を持っている。という説明を聞いた。その後李教授の案内で院内の見学に移ったが、広くて3時間で全科を見ることはできなかった。午後より我々5名で講義を行った。

開業医制度のない中国で開業医の講義を許してくれたのは開放政策からとか。日常臨床のペリオ・エンドについて話したが日本の豊かさがうらやましいことは後で聞いた。

〈意外にも針麻酔は見られなかった〉



完全に消毒されている
外科診療室

消毒は完璧になされており、デスポーザブルの手袋、マスク、帽子も結構身につけていた。麻酔は注射であり、針麻酔は見なかった

た。デンチャーは6年生の学生でもきちんとした物を作っており、伝統的に高いレベルにあると感じた。半面、クラウン・ブリッジは縫成冠が主流であり、エンドもまだまだの域で、歯髄をレジン液で固定する方法を行っているという。紫色に近い液であったが成分は分らない。光重合合法は盛んに行われていた。

カボ社の技工台にモーターエンジン。それにアルコールランプの取り合せ。隣りの部屋にはジェレンコ社のポーセレンファーマネスがあり、ダイコアの製造機も設備されていた。



デンチャーは高いレベルを示したその技工室

〈設備のととのったレントゲン室〉



日本にも優るレントゲン室

部屋の広さや設備の豪勢さにはビックリした。すべてシーメンス社製で1000MA大型X線機などを備え、機種が多さや充実

度では日本の歯科大学の比ではない。撮影はレントゲン技師がするのは当然だけど、中国ではスライド写真は写真師が撮影し、医師はできないという。体制の違いか。

〈裕福な人だけをみる特診室〉



特診室

ユニット8台ともシーメンス社製。豊富に材料を使い、高度な医療が行われていた。待合室は革張りのゆったりした椅子。患者

は裕福階級で外資系の人、在中各国大使館員や華僑だという。

写真は治療中の林教授（女性）であるが、半数が女性の教授という。教授のすべてが外国留学経験者であり、アメリカやヨーロッパ、日本などで勉強している。この診療室で先進国レベルの医療の恩恵に浴するのは幸せである。中国では歯の治療を受けることさえ、大変な競争率で限られた人達だと聞いた。

一枚の写真



林 正之先生

熊本市呉服町3-37

近況報告

1 昨年体調をこわし、入院致しましたが、節制を守り、もっぱら後樂園スポーツセンターに通って体力作りにはげんで居ります。

近頃、感じたりすること

健康と言う事の有難さが身にしみて判かりました。

後樂園スポーツセンターで100回達成時の写真です。(8kgやせて、67kg Best の体重です。)

写真に関するエピソード、思い出

原稿依頼を受け、写真を整理していたら、思い出深い写真が続々と出て来、その中から一枚の宝物の様な写真が出て来ました。私が東京女子医大口腔外科学教室在局中に大変御世話になった恩師村瀬^{ムラセ}正雄教授御夫妻と、西ドイツボン大学顎顔面外科のシューハルト教授御夫妻の写真です。私が帰熊してから、新築(1976年)して間もない秋の日でした。村瀬教授から突然電話がかかって来て今からシューハルト教授夫妻を君の所へつれて行くからよろしくたのむとの事でした。さてそれからが大変で、どの様に接待したらいいか、思案している内に四人が来てしまい、座敷^{ザシキ}へ案内し、お茶と和菓子で接待し、しばらく独英語を交えて歓談しました。それから、家中を案内し、診療室を見てもらいましたが、色々と質問され試験を受けている生徒みたいな感じで、冷や汗が出っ放しでした。それから村瀬教授と食事はどうしましょうかと相談した結果、幕の内弁当と言う事になりましたが、抵

抗なくワンダフルを連発し8割位食べてくれたのでホッとしました。しばらく雑談のあと、これから阿蘇へ行くと言う事になり、ドイツでの再会を約束して別れました。当時私が医局長時代、西ドイツボン大学、スウェーデン・マルメ王立歯科大学、インドネシア・バンドン・パジャジャラン九大学と三ヶ所の海外研修を行っていました。現東北歯科大学高井教授がボン大学の留学から帰って来られてからの手術のすばらしさに目を見張ったものです。女子医大の他の科の先生も見学に見えられた程でした。その頃からシューハルト教授にあこがれていましたが、そのシューハルト教授と恩師村瀬教授と例え半日であっても、一緒に過ごす事が出来た事を本当にうれしく思いました。本当にあわただしい半日でしたが、この一枚の写真が、昨日の様に当時の事を思い出させてくれました。



千場正昭先生

熊本市出水6丁目20-2
写真に関するエピソード、
思い出

「一枚の写真」と言えばこれしかない。

平成3年12月1日、第44回九州歯科医学野球大会

(沖縄)で優勝した時の写真。

学生時代から約30年間、野球をやり、数多くの試合をやってきたが、この時程感動したことはなかった。熊齒野球部44年目にして、初優勝。皆んなで肩を抱き合い涙した一生忘れる事の出来ない瞬間であった。沖縄大会であったので、最終便までの時間がなく全員、泥だらけのユニフォームのまま飛行機に乗り込み回りの人達がびっくりしていたのも楽しい思い出の一つである。

近況報告

長男が先月で20才になった。(女房から聞いて初めて知る)自分の20才の時を考えてみる……

学問は程々にやり、好きな野球をやり、小倉の街を遊び歩き、狭い下宿で友人と夜遅くまで語る。楽しい学生時代の思い出ばかり。そんな事がついこの前の出来事の様な気がしてならない。

時の流れが早過ぎる。こんな事考える事自体、年を取ったのかもしれない。

近頃、感じたりすること

バブル経済崩壊。歯科界にも少なからず影響があるかもしれない。しかし一つの経済のサイクルの一環として捉えるならば、世の中いろいろ、悪い時必ずある。だからそう悲観する事もない様な気もする。

ここは慌てず、焦らず、世の中の流れに逆らう事なく自分のペースで生きていきたい。



徳永宣夫先生

熊本市武蔵ヶ丘2丁目52番地

写真に関するエピソード、思い出

学生時代に始まった登山熱は、卒業後ますます高まり、雨が降っていても金曜日の夜行列車に乗っては、土曜日曜の山行を繰り返して月曜の朝帰るという年月を過ごしていました。九州の山々もほとんど登りつくしてくると次は岩登りに熱が入りだし、阿蘇の岩壁が夢に出てくるようになりました。そんな頃の阿蘇高岳北尾根での写真です。仙酔峡からの鷲ヶ峰の眺めは今でもゾクッとします。その後、結婚や開業等で山から遠ざかっていますが、山への情熱は消え去ってはおりません。ここ10年位は海ばかりに足が向いてますが、そのうちきっと山ばかりという日が来るような気がしております。





スポーツの広場



ゴルフ・野球・ボーリング等のスポーツを愛好し、毎週、毎月それを楽しみにしておられる先生方が多くおられます。そこで私たち市広報委員会は、スポーツの結果を季刊誌に掲載することで、ますます、スポーツを通しての友好の輪が広がることを期待しています。

これからスポーツに関することで、会員の皆様の御協力、御投稿をお願いします。

トーナン・デンタル・ゴルフ会

平成4年10月例会(23名参加)

1. 古賀 明
2. 三隅 房 邦
3. 寺 脇 博
4. 内 田 隆
5. 合 沢 康 生
- B・B. 竹 下 憲 治

平成4年11月例会(15名参加)

1. 三隅 房 邦
2. 奈 良 健 一
3. 本 田 治 夫
4. 村 上 常 道
5. 河 野 正 敏
- B・B. 寺 脇 博

平成4年12月例会(32名参加)

1. 河 野 生 司
2. 斉 藤 忠 継
3. 奥 田 良 樹
4. 寺 脇 博
5. 篠 原 威 雄
- B・B. 内 田 隆

平成4年度年間ベスト10

1. 三隅 房 邦
2. 本 田 治 夫
3. 寺 脇 博
4. 山 室 紀 雄
5. 合 沢 康 生
6. 奥 田 良 樹
7. 河 野 敬 明
8. 村 上 常 道
9. 大 森 秀 則
10. 中 根 俊 吾

(平成4年1月~12月)

熊本デンタルゴルフ

平成4年10月18日 熊本空港カントリー(18名参加)

	O	I	G	H	N
1. 松 本 光 示	37	39	76	4.8	71.2
2. 城 後 美喜男	43	41	84	12	72
3. 渡 辺 賢 治	42	35	77	4.8	72.2
4. 古 賀 明	45	41	86	13.6	72.4
5. 千 場 敏 昭	40	42	82	8.8	73.2

11月15日 熊本空港カントリー(16名参加)

1. 元 島 博 信	44	44	88	16	72
2. 稲 葉 逸 郎	41	43	84	10	74
3. 古 賀 明	50	42	92	17	75
4. 有 田 鉄 郎	41	44	85	9	76
5. 千 場 正 昭	43	47	90	14	76

12月30日 熊本空港カントリー(48名参加)

1. 津 田 勝 久	40	46	86	17	69
2. 川 崎 俊 明	42	42	84	13	71
3. 坂 梨 常太郎	39	43	82	10	72
4. 細 川 孔	48	48	96	23	73
5. 田 中 弥 興	47	47	94	20	74
6. 小 田 和 人	41	46	87	12	75
7. 中 島 義 和	40	41	81	5	76
8. 井 尾 治 雄	51	48	99	23	76
9. 古 賀 明	45	49	94	17	77
10. 角 岡 秀 昭	46	50	96	19	77

新 入 会 員 紹 介



1. 氏 名 松 岡 弘 毅

2. 住 所

(自 宅) 熊本市水前寺 1 丁目 6-11-501

T E L 096-381-5626

(診療所) 熊本市島崎 1 丁目 9-22

T E L 096-359-5743

3. 生年月日 昭和38年11月 3 日

4. 趣 味 ゴルフ、映画鑑賞

5. 好きな言葉

6. 経 歴 昭和63年 九州歯科大学卒業

昭和64年 園生歯科勤務

平成 4 年 森一歯科勤務

平成 4 年 11月開業

7. 家族構成 妻

〈ちょっとBREAK〉



◆CDの寿命はわずか15年!?

いまや、完全にLPを駆逐してしまった感のあるCD。音質がよく、手軽で、傷がつかない半永久的商品というのが、そのうたい文句だが、最近、CDは15年ぐらいたつと音がでなくなる、という説が発表されて反響をよんでいる。

発表したのは、音楽評論家の石井宏氏で、以下、その根拠をかんたんに紹介しよう。

CDのベースは、「ポリカーボネイト」といわれるプラスチックだが、このなかに微量ながら空気が混入している。この空気がだいに表面を覆っているアルミを酸化させる、つまり、腐らせてしまう、というのが第一の理由。

もう一つの理由は、やはり微量ながら残留している塩素がアルミに悪いというものだ。メーカー側は、こ



の説を黙殺しようとしているが、CDが発売されてまだ10年たらず。あと5年もすれば、白黒がはっきりする?

◆なぜ食後のクスリは"30分以内"なのか

病院でもらう薬の多くは、たいてい食後30分以内に飲むことになっている。

その理由は、胃のなかからっぽだと、薬が胃や腸の粘膜を刺激しかねないからだ、じつはもっと大きな理由がある。それは、薬の飲み忘れ防止。つまり、1日3回の食事とセットにしておけば、どんなうっかり屋でも、まず飲み忘れることはないだろうというわけだ。

ちなみに、薬の服用時間でまちがえやすいのが、「食間」というもの。これは、食事をしながら飲むのではなく、食事と食事のあいだ、つまり、胃のなかにあまりものがはいっていないときに飲むのが正しい飲み方だ。

(時間の不思議より)

救急蘇生法実習会 (北2・3、東1・3、中央・川尻)

H4.11.24 (火) PM7:30～「3Fホール」

№	医 院 名	氏 名
1	北熊本藤波歯科	藤 波 好 文
2	木村歯科クリニック	木 村 浩 幸
3	奥 村 歯 科	奥 村 敏 之
4	菊 川 歯 科	菊 川 明 彦
5	武 内 歯 科	武 内 旌 表
6	富 田 歯 科	富 田 久 之
7	松 永 歯 科	松 永 久
8	矢 毛 石 歯 科	矢 毛 石 豊
9	"	秋 山 祐 子
10	"	前 野 由 香
11	"	谷 口 弘 美
12	寺 脇 歯 科	寺 脇 博
13	ありよし歯科	船 津 美 香
14	"	池 嶋 由 希
15	"	吉 田 さ お み
16	"	尾 方 ゆ み
17	伊 東 歯 科	高 木 公 康
18	"	林 浩 幸
19	"	和 久 田 哲 男
20	"	西 田 久 美
21	"	緒 方 弘 美
22	"	中 林 ゆ み
23	後 藤 歯 科	後 藤 俊 一
24	菊 川 歯 科	佐 藤 昭 彦
25	伊 東 歯 科	伊 東 隆 利
26	鳥 取 歯 科	鳥 取 孝 治
27	長 嶺 歯 科	岩 村 祐 子
28	"	根 北 弥 生
29	伊 東 歯 科	下 川 敬 子
30	西 野 歯 科	西 野 秀 隆
31	林 歯 科	林 正 之
32	徳 永 歯 科	徳 永 俊 英
33	前 田 歯 科	鈴 木 勝 志
34	"	鈴 木 梓
35	柿原歯科医院	柿 原 訓
36	尾上歯科医院	尾 上 宏
37	堀川歯科医院	堀 川 秀 一
38	古 賀 歯 科	古 賀 明
39	藤 波 歯 科	藤 波 剛
40	伊 東 歯 科	山 本 浩 喜
41	坂 本 歯 科	坂 本 憲 昭

№	医 院 名	氏 名
42	関 歯 科	関 剛 一
43	中 根 歯 科	中 根 俊 吾
44	斉 藤 病 院 歯 科	斉 藤 忠 継
45	片山歯科クリニック	西 村 賢 二
46	"	福 本 喜 世 美
47	"	尾 下 信 子
48	"	作 取 貴 美 代
49	"	溜 渕 里 恵
50	"	渡 辺 直 美
51	伊 東 歯 科 医 院	立 花 し の ぶ
52	"	堀 江 あ ゆ り
53	"	鈴 え み 子
54	東 歯 科	椎 葉 秀 子
55	"	井 尾 水 綺
56	"	本 田 貴 子
57	"	野 田 英 美
58	川 崎 歯 科	松 本 典 子
59	"	花 本 多 恵 子
60	"	柴 田 信 子
61	"	鯨 守 秀 子
62	"	池 田 真 理
63	"	木 本 陽 子
64	菊 川 歯 科	富 田 雅 子
65	伊 東 歯 科	益 田 美 津 代
66	"	鏡 智 子
67	"	金 川 葉 子
68	"	村 崎 加 代
69	"	柏 田 可 奈
70	菊 川 歯 科	馬 渡 幸 江
71	"	金 子 公 子
72	"	松 田 歌 織
73	松 永 歯 科	小 出 弥 香
74	"	稲 村 弘 美
75	津 野 田 歯 科	津 野 田 稔
76	尾 上 歯 科	芝 美 里 子
77	"	大 久 保 美 江
78	"	吉 本 貞 女
79	"	三 嶋 裕 二
80	蔵 田 歯 科	蔵 田 幸 一
81	田 中 歯 科	田 中 弥 興
82	菅 原 歯 科	菅 原 洋

救急蘇生法実習会

(北1、東2、4、小島、南部、西部)

H4.11.27 (金)

PM7:30～「3Fホール」

№	医 院 名	氏 名
1	杉野歯科クリニック	杉 野 信 孝
2	井 手 歯 科	井 手 一 之
3	ありよし歯科	有 吉 洋
4	川 崎 歯 科	川 崎 俊 明
5	伊 東 歯 科	伊 東 隆 利
6	堤 歯 科	金 本 良 久
7	"	河 野 純 子
8	赤 城 歯 科	土 田 留 美
9	"	吉 田 由 美 子
10	沢 木 歯 科	沢 木 孝 明
11	堀川歯科(水前寺)	堀 田 倫 代
12	"	竹 田 恵 美 子
13	"	稲 田 知 美
14	すみもと歯科	住 本 和 隆
15	添 島 歯 科	添 島 正 和
16	村 上 歯 科	村 上 辰 郎
17	坂 元 歯 科	森 田 友 紀 子
18	原 田 歯 科	原 田 秀 一 郎
19	壺 川 歯 科	緒 方 講 治
20	"	二 俣 由 美 子
21	堀 川 歯 科	堀 川 義 弘
22	岡 田 歯 科	岡 田 知 久
23	西 川 歯 科	西 川 庄 次
24	か や の 歯 科	萱 野 至 仁
25	木 村 歯 科	木 村 洋
26	木村歯科クリニック	坂 本 美 奈 子
27	"	水 野 恵 美
28	"	柳 本 る み こ
29	中 根 歯 科	森 麻 理 子

№	医 院 名	氏 名
30	中 根 歯 科	稲 葉 奈 美 子
31	"	高 橋 好 美
32	西 野 歯 科	西 野 隆 一
33	伊 東 歯 科	中 島 洋 章
34	"	上 村 高 徳
35	"	藤 本 義 一
36	"	佐 久 間 明 美
37	"	中 尾 雪 美
38	"	青 木 悦 子
39	"	野 田 美 穂 子
40	"	鈴 木 加 代 子
41	"	仲 田 潤 子
42	"	益 田 睦 子
43	鬼 塚 歯 科	鬼 塚 友 文
44	伊 東 歯 科	笹 原 晴 美
45	西 川 歯 科	坂 田 美 矢 子
46	伊 東 歯 科	竹 田 博 又
47	合 沢 歯 科	合 沢 康 生
48	古 川 歯 科	古 川 猛 士
49	伊 東 歯 科	柴 千 登 美
50	永野歯科クリニック	伊 藤 麻 里 江
51	"	藤 本 真 寿 美
52	"	永 野 忠
53	浮 池 歯 科	浮 池 昌 史
54	林 田 歯 科	林 田 充 成
55	ひろた歯科	広 田 達 也
56	伊 東 歯 科	淀 川 尚 子
57	田 中 歯 科	田 中 宏
58	富 田 歯 科	富 田 久 之

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
10月21日	第50回理事会
11月17日	第51回理事会
12月 6 日	第52回移動理事会

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
10月20日	再審査請求について
11月10日	症例検討（抜歯について）
	ビデオ研修会について
12月 3 日	症例検討
	4月改正後の点数動向

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
10月14日	新年パーティーの打合わせ （H5.1.23ニュースカイホテル玉樹の間7時より）
	次年度の厚生行事打合わせ
	ボウリング大会
	ゴルフ大会について
11月 5 日	新年パーティーの打ち合わせ
12月11日	新年パーティーの打ち合わせ

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
10月19日	歯磨き巡回指導の打合せ
11月18日	学校での歯科検診結果の報告用紙について
	歯磨き巡回指導について
	全国学校歯科保健協議会（徳島市）報告
	熊本市有功賞表彰者について
12月18日	熊本県学校保健会合同研修会について （H 5 . 1 / 29-30、芦北郡芦北町にて）
	九州地区学校保健研究協議大会の報告書について（H 4 . 8 / 22-24）
	学校保健会理事会での報告

口 腔 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
10月13日	市民健康フェスティバルについて
11月26日	12 / 8、9 幼稚園フッ素塗布について
	H 5 年度、歯の衛生週間の行事案について
12月15日	幼稚園フッ素塗布反省、報告
	H 5 年度、歯の衛生週間の件

医療管理委員会

月 日	協 議 題
10月15日	歯科医師会、衛生士、技工士会の会合報告—初任給、退職金など
10月31日	在宅歯科保険推進事業研修講演会について
11月11日	改正廃棄物処理法の説明会について 救急蘇生実習について11月24、27日 在宅診療のステッカー内容の検討 カレンダー（H5）内容の検討
11月20日	救急蘇生ビデオ予習 歯科医療実態調査アンケート分析
12月15日	医療管理委員会アンケート分析 H5 税務カレンダー内容について H5 予定について 就業規則内容について検討

広報委員会

月 日	協 議 題
9月30日	10月号かわら版編集 中岳79号編集会議
10月6日	10月号かわら版校正 中岳79号編集会議
10月20日	11月号かわら版編集 中岳79号第1校正
10月30日	11月号かわら版校正 中岳79号第2号校正
11月25日	H4.11.13の熊日新聞の記事について討論 広報活動の在り方について
12月2日	12月号かわら版校正 中岳80号の原稿チェック
12月22日	1月号かわら版編集 中岳80号原稿チェック

学術委員会

月 日	協 議 題
10月29日	11月14日（土）の学術講演会について 11月24日（火）11月27日（金）の救急蘇生講習会について 平成5年3月6日（土）学術講演会について 検査値の読み方チャートについて
11月13日	検査値の読み方 下川公一先生の学術講演会について 11月24日（火）11月27日（金）の救急蘇生講習会について

その他の委員会

月 日	協 議 題
12月16日	企業検診部会 企業検診の一年間の反省と今後の展望



平成5年も波乱の幕開けとなっています。皇太子様の御婚約・イランへの再空爆・タンカー座礁による原油流出・超アイドル同志の婚約また解消と目まぐるしい感じで、こんなに大きな事件が次から次へとよくも起こるものだと驚くばかりです。

あまりにも大きな事件ばかりが起こりすぎるので、普通の時ならば新聞のトップになるような事でさえ、隅のほうに追いやられている感じがえする昨今です。この間私たちの日常生活に関係のない、距離の離れた記事が大きく報道されるのを見ると、こういう事件だけを注目する間に、国民に密接に関係するのが目立たない大事なことが見逃されているのではないかと危惧しています。

今年は私たち歯科医師会員にとって大事なことだが、まだまだ水面下に隠れている問題を私たち委員会は大胆に記事として掲載しようと思っています。広報委員会になお一層の御協力と御支援をお願いします。

(T・N)

熊本市歯科医師会会誌

第 80 号

発行日 平成5年2月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発 行 中 根 俊 吾
責任者

印刷所 株式会社 白 瀬

熊本県菊池郡西合志町須屋1927-1番地

TEL 096-346-1515 FAX 096-343-3303